

電磁界理論研究会

〔委員長〕塩澤俊之（大阪大）

〔幹事〕田中嘉津夫（岐阜大），山崎恒樹（日大）

〔幹事補佐〕松本正行（大阪大）

日時 1月25日（木） 8：50～18：20

1月26日（金） 9：00～17：30

場所 長崎大学工学部2号館24番講義室（長崎市文教町1-14，JR長崎駅またはJR浦上駅より，路面電車「赤迫」行き），または長崎バス「住吉」方面行きに乘車，「長崎大学前」下車（長崎駅より約20分，浦上駅より約10分），または，長崎空港より高速バスで「昭和町」下車（空港より約40分），徒歩10分。詳細は，<http://emlab.eee.nagasaki-u.ac.jp/> をご参照下さい。）

共催 電子情報通信学会 電磁界理論研究会（委員長 立居場 光生）

電子情報通信学会 アンテナ・伝播研究会（委員長 鹿子嶋 憲一）

電子情報通信学会 宇宙・航行エレクトロニクス研究会（委員長 近藤 倫正）

IEEE AP-S Japan Chapter（委員長 堀 俊和）

IEEE AESS Japan Chapter（委員長 関根 松夫）

URSI-B分科会（委員長 安藤 真）

URSI-F分科会（委員長 唐沢 好男）

議題 テーマ「レーダ・リモートセンシング，一般」

1月25日（木）

8:50～12:05 一般8件および招待講演

EMT-01-01 都市内における基地局到来波の多重波伝搬モデル

市坪信一，常川光一，恵比根佳雄（NTTドコモ）

EMT-01-02 市街地マイクロセル環境におけるマイクロ波帯時空間特性の検討

増井裕也，石井雅典，坂和幸蔵，清水裕之，小林岳彦（YRP）

EMT-01-03 VSAT衛星通信における航空機及び降雨の影響（2）

片岡卓士，岩田康昭，藤崎清孝，石田健一，松岡剛志，立居場光生（九州大）

EMT-01-04 ETS-VIII搭載アレー給電反射鏡アンテナの部分鏡面を用いた実証試験

上野健治・跡部雅敏（ASC），宮坂明宏（NASDA），織笠光明・奥村実（東芝）

EMT-01-05 ETS-VIII地上端末用小型セルフダイプレクシングアンテナ

新井宏之（横浜国大），高野好一，光本秀夫，吉本繁壽（ASC）

EMT-01-06 アレー給電反射鏡形式マルチスポットビームアンテナにおける給電クラスター簡易設計法

牧野 滋，内藤 出（三菱電機）

EMT-01-07 フリップに内蔵されたダイポールアンテナの特性

深沢 徹，大嶺 裕幸（三菱電機）

EMT-01-08 Monopole Antenna Using Resonance of Cylindrical Redome

蒋惠玲，新井宏之（横浜国大），恵比根佳男（NTT DoCoMo）

EMT-01-09 [招待講演]計算電磁気学の現状と将来展望

生野 浩正（熊本大）

1月25日(木)

13:00-17:10 一般講演12件

17:20-18:20 IEEE AP-S特別講演

- EMT-01-10 GPSによる電離層推定と単周波VLBIへの応用
関戸 衛, 近藤 哲朗, 川合 栄治, 今江 理人(通信総合研究所)
- EMT-01-11 稚内における超高層大気観測用VHFレーダと宇宙航空分野での利用の可能性
五十嵐 喜良(通信総合研究所)
- EMT-01-12 風速計測用光波レーダにおける空間スクリーニング処理
若山 俊夫, 桐本 哲郎, 藤坂 貴彦, 大鋸 康功(三菱電機)
- EMT-01-13 多点震動変位の位相差による計測法
岡村 敦(三菱電機), 御子柴 正(防災科研), 関口 高志, 菊地 宏(三菱電機)
- EMT-01-14 サポートベクターマシンのポーラリメトリックSAR画像の分類への応用
福田 盛介(宇宙科学研究所), 谷口 幸弘, 奴田原 竜治(武蔵工大)
廣澤 春任(宇宙科学研究所)
- EMT-01-15 FM-CW地中レーダにおけるカップリングの影響軽減手法について
織田 隼人, 三輪 空司, 荒井 郁男(電気通信大)
- EMT-01-16 FM-CW信号を用いた高精度近距離レーダ
浜田和亮, 本村和磨, 荒井郁男(電気通信大)
- EMT-01-17 スタガトリガ方式における複数のノッチフィルタの組合せによる適応的クラッタ抑
圧
関口 高志, 藤坂 貴彦(三菱電機)
- EMT-01-18 ポラリメトリックノッチフィルタ 諏訪 啓, 山本 和彦, 桐本 哲郎(三菱電機)
- EMT-01-19 バイスタティックレーダを用いたヘリコプタ目標の特徴抽出方式
山本 和彦, 桐本 哲郎(三菱電機)
- EMT-01-20 複数追尾フィルタによる軌道目標の追尾
亀田 洋志, 辻道 信吾, 小菅 義夫(三菱電機)
- EMT-01-21 光学画像センサと2次元レーダを用いた車両の3次元追尾方式
岡田 隆光, 藤坂 貴彦, 小菅 義夫(三菱電機)
- 「特別講演」 国際貿易都市長崎の歴史[口頭発表] 原田博二(長崎市立博物館)

1月26日(金)

9:00~12:10 /一般講演9件

- EMT-01-22 SELENE衛星搭載HF帯(5MHz)FMCW レーダによる月地下探査と月面SAR観測
およびinSAR観測 小林 敬生, 小野 高幸, 大家 寛(東北大学)
- EMT-01-23 パラサイト素子によるフェーズドアレイアンテナの高利得化
糀谷卓也, 桑原義彦(静岡大)
- EMT-01-24 エスパアンテナの基本検討 - 適応制御に基づくSIR特性の統計的性能評価 -
神谷幸宏, 大平孝(ATR)
- EMT-01-25 積層型ポリマー光導波路を用いた2次元ビーム制御用光信号処理ビーム形成回路
秋山 智浩, 稲垣 恵三, 大平 孝(ATR), 疋田 真(NTT-AT)
- EMT-01-26 正三角形アレーを用いた2D-ESPRIT到来方向推定のための
推定値ベアリング手法の改良 黒田 徹, 菊間信良, 稲垣直樹(名工大)
- EMT-01-27 誘電体レンズアンテナの解析
増田充宏(長崎大学), 下田秀昭(TDK), 田中和雅, 田口光雄(長崎大学)

- EMT-01-28 全身等価楕円柱ファントムによる150MHz帯ノーマルモード
ヘリカルアンテナの放射 / SAR特性の評価 小柳 芳雄(松下通工)
河井 寛記, 伊藤 公一, 吉村 博幸(千葉大), 小川 晃一(松下電産)
- EMT-01-29 FDTD法における不均一セル使用時の精度補正法に関する一提案
並木武文(富士通), 伊藤公一(千葉大)
- EMT-01-30 2次元散乱問題におけるIE-MEI法の適用範囲
廣瀬雅信(電総研), 高田潤一(東工大), 荒井郁夫(電通大)

1月26日(金)

13:00 ~ 17:30 一般講演13件

- EMT-01-31 CPW給電を用いたDual-Plane Slot Antennaの特性
中村 努, 北村 敏明, 下代 雅啓, 沢 新之輔(大阪府立大), 堀井 康史(関西大)
- EMT-01-32 アレイアンテナを用いた超広帯域信号到来角推定の試み
堀田 誠司, 佐藤 亨(京都大)
- EMT-01-33 MUレーダーを用いた干渉計法による微弱流星の軌道決定
西村 耕司, 佐藤 亨, 中村 卓司(京都大)
- EMT-01-34 層状媒質の時間領域逆散乱問題に対する線形化手法の適用
工藤孝人(大分大)
- EMT-01-35 地中埋設物のマイクロ波イメージング
田中俊幸, 賈 洪廷, 竹中 隆(長崎大)
- EMT-01-36 Report on Cross-hole Polarimetric Borehole Radar Experiment
Tomohiro Abe, Satoshi Ebihara, Motoyuki Sato (Tohoku Univ.),
Takashi Miwa (Univ. Electro-communication),
Takashi Takenaka (Nagasaki Univ.), and Jung-Woong Ra (KAIST)
- EMT-01-37 大きなインピーダンス球の表面電磁界
本郷廣平(東邦大), 小林弘一, 森山敏文(富士通システム統合研究所)
- EMT-01-38 物理光学法を用いたインピーダンス2次曲面による平面波の散乱
小林弘一, 田中五輪男(富士通システム統合研究所), 本郷廣平(東邦大)
- EMT-01-39 斜め入射による遷移電流を用いたインピーダンス筒状物体からの散乱
森山敏文, 小林弘一(富士通システム統合研究所), 本郷廣平(東邦大)
- EMT-01-40 2層誘電体球からなる離散的ランダム媒質層による電磁波の散乱解析
松岡剛志, 立居場光生(九州大), 南部幸久(佐世保高専)
- EMT-01-41 粗に分布したキラル球からなるランダム媒質の等価伝搬定数
南部幸久(佐世保高専), Wei Ren (McMaster大),
平本美智代, 松岡剛志, 立居場光生(九州大)
- EMT-01-42 キラル媒質を用いたフォトリック結晶の解析 楠 敦志, 田中 充(大分大)
- EMT-01-43 微細周期構造をもつ回折光学素子の回折特性解析
奥野 洋一, 藤本 正行(熊本大), 松田 豊稔(熊本電波高専)

* 1月25日の研究会終了後、懇親会を予定しております。奮って御参加下さい。

* 講演時間

一般講演の時間は1件当たり20分(発表15分, 質疑5分)

招待講演の時間は1件当たり25分(発表20分, 質疑5分)

AP-S Japanの特別講演の時間は1件当たり60分(発表50分, 質疑10分)